

小美玉市立玉里東小学校 学校長：額賀 光博

【実施日時】	平成20年10月22日(水) 9:00~13:30
【参加者と人数】	1~6学年67名
【コーディネーター】	菊地 方美
【講師】	チョーサ・マリ(フィリピン)
【活動内容】	2部(1~3年生, 4~6年生)に分かれて実施 ・フィリピンの紹介 ・バンブーダンスの実演 ・質問タイム ・交流給食
【参加者の感想】	<ul style="list-style-type: none"> ・国旗の上下が反対になると戦争の意味になってしまうことが初めて分かった。クイズで全問正解し, 楽しいワールドキャラバンだった。 ・タガログ語で「元気ですか」「元気です」「ありがとう」などを教えていただいた。フィリピンの学校では, 2度悪いことをしたらどこの学校にも通えなくなってしまうことを聞き, 日本の学校よりとてもきびしいと思った。 ・フィリピンのあいさつやダンス, 学校の決まりなどを知ることができた。特におどろいたのは, フィリピンの夏休みが4月~5月ということ。フィリピンが暖かい国だとは知っていたけれども, どのくらい暑いのだろうと思った。日本だけでなく他の国のことを知るのがとても楽しく感じることができた。 <p><保護者の感想> ・知っている様で意外と知らなかったフィリピンのことが楽しく学べた。バンブーダンスを子どもたちが生き生きと踊っている様子を見て, 今の子どもたちは小さな頃から外国の方と触れ合うことができ素晴らしいと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にタガログ語を話してみたり, ゲームに参加したりして, フィリピンを少し感じることができたと思う。日本と違う学校のスタイルや生活の違いも大きな発見だったと思う。このような機会はなかなかないので, 今後も続けてほしい。
【担当者の感想】	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に洋服を着てみたり, 音楽に合わせて踊ってみたりと, 楽しみながら学習することができてよかった。クイズやバンブーダンスなど動きのある内容もよかった。ただ, 低学年の子にとっては社会を学習していないので, お話を聞いて理解するには難しい部分もあると思った。自由参観と1年生の家庭教育学級も兼ねていたため, 保護者にも参加していただき, 国際理解教育に関心と理解をもってもらえたと思う。ただ発達段階に応じてもっと変えてもよかったと思う。

